

教育目標	
心豊かに 生き生きと たくましく しなやかな心をもつ 子どもを育む ～自ら学ぶ力、自ら律する力の育成～	
年度末の最終評価	
自己評価	教育目標の達成状況、次年度に向けた見直し
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

## 学校関係者評価の評価日・評価者

	評価日	評価者
中間評価	10月27日	学校運営協議会
最終評価		

## (1) 幼稚園教育（保育の改善・充実）について

<p>具体的な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭に、ごっこ遊びを通して友達や異年齢のつながりや対話が生まれるような環境をつくる。</li> <li>・子どもたちが思わずやってみたくなる環境や様々な動きを引き出せるような環境をつくったり、教師も一緒に遊ぶ中で体を動かして遊ぶ楽しさや気持ち良さに共感したりする。</li> <li>・明德小学校と授業参観や保育参観、子ども・教職員同士の交流の機会を設け、“対話”という共通のキーワードをもとに話し合うことで、育ちの共有や接続を図っていく。</li> <li>・試したり工夫したりして遊べるように、材料や用具の量を豊富に用意したり、ドキュメンテーション等で共有し、試しが広がっていくようにしたりする。</li> <li>・異年齢での活動を継続的に取り入れ、言葉で伝えたり、相手に伝わる伝え方を考えたりする経験が積み重なっていくようにする。</li> <li>・一人一人のありのままの表現を認めたり、クラスで取り上げ、友達の表現の良さに気付けるような機会をもったりすることで自信につながっていくようにする。</li> </ul>
<p>（取組結果を検証する）各種指標</p> <p>○日々の子どもの姿についての情報共有、記録、事例研究による子どもの変容、週案の反省・評価、</p>

教育課程の見直し
○アンケート項目「子どもは、自分でしたい遊びを見つけて楽しんでいる」「子どもは、園内の自然環境を遊びに取り入れて楽しんでいる」

#### 中間評価

自己評価	各種指標結果
	○ アンケート項目、「子どもは自分の思いを素直に出そうとしている」「子どもは友達と関わりながら遊ぶことが好きである。」に関しては、どちらも、各学年「そう思う」「大体そう思う」を合わせると、97%、100%になるという高い数値であった。
	分析（成果と課題）
	・年度当初より、園内研究のテーマ“つながり”、“対話”に迫るような保育計画を考え、実践するとともに、その土台となる自分の思いを安心して素直に出せることを大切にし、人的、物的環境にも配慮してきた。アンケート結果から伺える。
学校関係者評価	分析を踏まえた取組の改善
	・今後も、これからの季節に応じた環境や、子どもの育ちにつながるような環境構成や援助を見直していきたい。
	（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標
自己評価	・園内研究会での事例研究      ・アンケート項目      ・週案の評価
	学校関係者による意見・支援策
学校関係者評価	・今年度は、コロナが5類になったことで、いろいろな行事もやりやすくなったのではないかな。戻すということだけでなく、新しいやり方も取り入れつつ充実させていってほしい。

#### 最終評価

（中間評価時に設定した）各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

#### （2）架け橋期の教育の充実に向けた幼保小連携・接続に関して

具体的な取組
・“対話”を幼小の共通の視点として、互いの保育や授業を見合い、協議を深めていく。
・年長組と1年生との交流をする中で、教師同士の事前や事後の話し合いをする機会を設け、互いの教育について理解を深める。
・架け橋期のカリキュラム作成に向けて、協議・検討していく。

<div>（取組結果を検証する）各種指標</div> <div> ○ 近隣の小学校へ発信した幼稚園通信での反応、小学校の授業参観・研究授業の参観  ○ 架け橋プログラムでの協議  ○ 架け橋期のカリキュラムの作成についての進捗状況  ○ 読書ノート「親子で絵本！」の活用度を定期的に点検、把握、改善 </div>	
--	--

中間評価

<div>各種指標結果</div> <div> ・幼稚園通信を1学期は3回発行した。卒園児の保護者から楽しみにして読んでいる問声があった。  ・小学校への休日参観、夏季休業中の合同研修会、研究授業の参観、研究協議への参加等、保育公開と合同研修など計画的にすることができた。  ・アンケート「読書ノートは様々な機会に利用している」の結果は、「そう思う」「大体そう思う」を合わせると、76%となる。 </div>	
自己評価	<div>分析（成果と課題）</div> <div> ・小学校の教員との研修機会が複数回設けられたことは、コロナ以前と比較しても連携が進み、互いの教育を理解する機会となった。しかし、更に架け橋の役割として幼児教育の在り方を発信していくことは必要である。  ・アンケート「読書ノートは様々な機会に利用している」については、おおむね良好だと思われるが、より親子での読み聞かせの大切さを伝えていきたい。 </div>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <div> ・研究保育、授業以外でも園児、児童の交流を通して互いを知る機会を作るために、計画をしていく必要がある。他の幼児教育施設への発信は課題である。  ・読書ノートについては、計画的に確認する機会をもける。 </div>
	<div>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</div> <div>授業、保育の参観、研究会への参加、交流計画、アンケート項目“小学校との連携”“読書ノートの活用”について。</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <div> ・幼小の交流活動は、大切だと思うので積極的に進めてほしい。  ・幼児教育施設の連携はどのようにすれば可能なのか、小学校と連携しながら進めていってほしい。 </div>

最終評価

<div>（中間評価時に設定した）各種指標結果</div>	
自己評価	<div>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</div>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div>

価	
---	--

### (3) 預かり保育に関して

<div>具体的な取組</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児3歳児クラスの子どもについて、安心感が持てるよう、子育て支援、預かり保育両担当の引き継ぎ時の連携を密に図る。</li> <li>・担任と預かり保育担当教員が心身の状態について引継ぎ、緊密に連携をとる。</li> <li>・時期や季節に応じた玩具や遊びの環境を整え、子どもが安心して、ゆったりとした気持ちで充実して過ごすことができるようにする。</li> <li>・早朝預かり保育での環境構成の在り方について担当教員と連携しながら充実を図っていく。また制度の地域への周知を図る。</li> </ul>
<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>○預かり保育参加人数</li> <li>○預かり保育の中での子どもの姿や教師のかかわり。</li> <li>○アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」「子どもは預かり保育の遊びを楽しんでいる」「預かり保育は保護者にとって有効である」など</li> </ul>

### 中間評価

	<div>各種指標結果</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度から始まった未就園児3歳児対象の預かり保育は、年度当初より就労の保護者の利用があり、4歳児の利用割合も増加している。</li> <li>・アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」は、「そう思う」「大体そう思う」を合わせると79%「早朝および保育後の預かり保育は保護者にとって有用である」は、「そう思う」「大体そう思う」を合わせると、100%であった。</li> </ul>
自己評価	<div>分析(成果と課題)</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・園児に対する利用割合は、昨年度より伸びている。有効に活用されているのではないかな。</li> </ul> <div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育時の活動内容や子どもの様子についての子どもが安心して預かり保育に臨めるように、担任と担当教員の連携をより密に図る必要がある。</li> </ul> <div>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育利用割合</li> <li>・預かり保育の中での子どもの姿や教師のかかわり。</li> <li>・アンケート項目「子どもは預かり保育に喜んで参加している」など</li> </ul>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・預かり保育は3歳児の親も利用しているなど、幼稚園の制度は社会に合わせて変わってきたことを感じる。公立幼稚園の役割は変わっていることを感じる。</li> </ul>

価	
---	--

#### 最終評価

(中間評価時に設定した) 各種指標結果	
自己評価	分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題
	分析を踏まえた取組の改善
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策

#### (4) 子育ての支援に関して

具体的な取組
<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就園児3歳児、1～2歳児それぞれのクラスの内容や回数の見直し、充実していく。</li> <li>・未就園児クラスと在園児クラスとの交流の機会をもち、園の教育への理解や発信につなげる。</li> <li>・異学年の交流を大切にし、安心して過ごしたり、刺激をもらったりしながら生活や遊びが充実できるようにする。</li> <li>・保護者の子育てに対する不安や悩みなどを丁寧に受け止め、共に具体策を考え、保護者の安心につなげる。</li> </ul>
(取組結果を検証する) 各種指標
<ul style="list-style-type: none"> <li>○子育て支援事業への登録、参加人数の推移。</li> <li>○子育て支援の取り組みの回数や参加人数、教育相談件数。</li> <li>○保護者の意見。</li> </ul>

#### 中間評価

各種指標結果	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の0～2歳児親子クラスは、昨年度よりも回数を増やさずにいたが、参加人数は昨年度より微減であった。登録者数は減少傾向である。</li> </ul>	
自己評価	分析（成果と課題）
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プレひよこ組（次年度3歳児クラス）については、対象者が減少している。発信の仕方や内容を検討する必要がある。</li> </ul>
自己評価	分析を踏まえた取組の改善
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組みの発信方法では広報、配架個所の見直し、内容については、新たな魅力ある取り組みを考える。</li> </ul>

	<div>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</div> 登録人数、参加人数、保護者の声等
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> ・地域に小さい子どもが減少してるのではないか。コロナや少子化の影響ではないか。チラシやポスター、今年度からは地域回覧板で発信の協力をしていきたい。

#### 最終評価

	<div>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</div>
自己評価	<div>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</div> <div>分析を踏まえた取組の改善</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div>

#### (5) 地域とのかかわり（社会に開かれた教育課程）に関して

<div>具体的な取組</div> ・畑の先生に栽培物の植え方や育て方を教えてもらったり、岩倉地域自然アドバイザーに地域の生き物について教えてもらったりすることを通して、自然に関心をもてるようにするとともに、地域の方とつながる喜びを感じられるようにする。 ・学校運営協議会「どんぐりーず」、PTA、おやじの会と連携し、保育の充実に生かす。
<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> ○地域との交流の内容や回数。運営協議会理事、PTA、地域の方の意見 ○京都岩倉自然学習アドバイザーのお力による取り組みの充実と、子どもの変容、研究の充実。 ○アンケート項目「学校運営協議会　どんぐりーず」と参画する行事は子どもたちにとって良い経験となっている」「学校運営協議会　どんぐりーず」に子どもたちも親しみをもっている。」など

#### 中間評価

	<div>各種指標結果</div> ・園児対象の地域との交流は今年度も見合せのままである。 ・コロナが5類になった後の学校運営協議会の理事による園行事への参画はしやすくなった。 ・PTA行事（夏祭り）が復活、充実し、その中でおやじの会の参画も積極的である。
自己評価	<div>分析（成果と課題）</div> ・学校運営協議会理事の方のご協力による行事の実施は、田んぼ遊びやお茶会がコロナ5類移行後なので人数を分ける必要がなくなり、園と理事の方の調整がしやすくなった。 ・PTA 行事、おやじの会の行事は復活しているが、負担感なくできる方法を検討していく。

	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <p>地域との交流の内容や回数。運営協議会理事，PTA，おやじの会、地域の方の意見</p>
	<div>(最終評価に向けた) 取組の改善を検証する各種指標</div> <p>・アンケート項目「学校運営協議会 どんぐりーず」と参画する行事は子どもたちにとって良い経験となっている」など</p>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <p>PTA、おやじの会などの活動は負担感なく無理なくできるものに引き続き検討して欲しい。</p>

#### 最終評価

<div>(中間評価時に設定した) 各種指標結果</div>	
自己評価	<div>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</div>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div>

#### (6) 教職員の働き方改革について

<div>重点目標</div> <p>○教職員の業務内容・勤務時間を意識し、改善点を明らかにし、教職員の連携を密に図り、校務支援員を有効活用しながら、働き方改革を推進する。</p>
<div>具体的な取組</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員全体での連携の元、校務支援員を活用しながら仕事の効率化を図り、働き方改革を推進し、教育の充実、教職員の健康保持増進を図る。</li> <li>・会議の精選・効率化、ペーパーレス化、行事の内容や業務の分担の見直しと効率化、超過勤務の短縮。</li> <li>・電話対応時間を18時までとする。</li> <li>・水曜日をノー残業デーに設定し、実現する。</li> </ul>
<div>(取組結果を検証する) 各種指標</div> <p>○校務支援員を初めとする教職員間の連携により改善できた業務内容。 ○教職員の超過勤務時間の実態把握や年休取得率。</p>

#### 中間評価

<div>各種指標結果</div> <p>・校務支援員をかなり効率よく活用できている。</p>
---

<ul style="list-style-type: none"> <li>・年休所得率は夏季休業中でも職種によってばらつきがある。</li> <li>・多忙な中、ノー残業デーが形骸化している</li> </ul>	
自己評価	<div>分析（成果と課題）</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ5類移行後は、行事や出張が復活し、超過勤務が増加傾向にある。</li> </ul>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援員とさらなる連携により、業務の効率化を図る。</li> <li>・ノー残業デーの意識化を図る。</li> </ul>
	<div>（最終評価に向けた）取組の改善を検証する各種指標</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・校務支援員の活用により改善できた業務内容。</li> <li>・ノー残業デーの実行</li> <li>・教職員の勤務時間の実態把握や年休取得率。</li> </ul>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div> <p>コロナが5類になり、行事や会議が多くなってきているのであろう。工夫して働き方改革をしていってほしい。</p>

#### 最終評価

<div>（中間評価時に設定した）各種指標結果</div>	
自己評価	<div>分析（成果と課題）、重点目標の達成状況、次年度の課題</div>
	<div>分析を踏まえた取組の改善</div>
学校関係者評価	<div>学校関係者による意見・支援策</div>